



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL <http://www.round1.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 072-224-5115
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	68,732	9.8	5,250	104.1	4,977	169.0	3,039	421.9
29年3月期第3四半期	62,621	4.3	2,573	3.2	1,850	△5.6	582	△8.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,122百万円 (142.9%) 29年3月期第3四半期 1,285百万円 (101.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	31.91	—
29年3月期第3四半期	6.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	101,515	52,106	51.3	546.97
29年3月期	101,712	50,872	50.0	534.00

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 52,087百万円 29年3月期 50,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期（予想）				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,801	9.1	9,707	45.3	9,332	59.3	5,595	104.5	58.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	95,452,914株	29年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	188,473株	29年3月期	186,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	95,265,205株	29年3月期3Q	95,268,406株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期的な回復基調で推移し、雇用・所得環境の改善に伴い、個人消費も緩やかな持ち直しが見られました。一方、海外経済においては、各国政策動向の不確実性や金融資本市場の変動の影響等、依然として不透明さが残るものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは人気ヴィジュアル系エアーバンド「ゴールデンボンバー」とのタイアップイベントの実施やオリジナルグッズの配布、最新ゲーム機種や最新アイテムの導入を積極的に行いました。また、「大人1名に対して小学生以下1名無料キャンペーン」を中学生以下まで対象を拡大し、「小中学生無料キャンペーン」としてボウリング、カラオケに加えてアミューズメントにおけるメダルゲームを対象に新たに実施し、来場者の獲得に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高68,732百万円(前年同四半期比9.8%増)、営業利益5,250百万円(同104.1%増)、経常利益4,977百万円(同169.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,039百万円(同421.9%増)となりました。

当社グループは、総合アミューズメント事業の単一セグメントとしているため、セグメント別の業績を記載いたしておりません。また、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間など長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で業績の偏りが生じます。なお、サービス別の業績は次のとおりであります。

①ボウリング

「1,000円キャッシュバックイベント」の継続的な実施や「小中学生無料キャンペーン」の実施など来場者の増加に努めた結果、前年同四半期に比べて7.2%の増収となりました。

②アミューズメント

新型景品機の導入や、人気映画のキャラクター・グッズ等の景品使用を積極的に行いました。また、メダルゲームコーナーにおいても、「小中学生無料キャンペーン」を新たに行った効果もあり、前年同四半期に比べて12.3%の増収となりました。

③カラオケ

ランドメニューの変更や「小中学生無料キャンペーン」を実施し、前年同四半期に比べて5.3%の増収となりました。

④スポッチャ

スポッチャ設置店舗の全店に人気アイテム「エアポリン」の導入を行った結果、前年同四半期に比べて9.8%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ196百万円減少の101,515百万円となりました。この要因は、未収還付法人税等が387百万円減少、未収消費税等が372百万円減少、貯蔵品が498百万円増加したこと等による流動資産の減少366百万円と、建物及び構築物が2,022百万円増加、リース資産が2,045百万円減少したこと等による固定資産の増加170百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,430百万円減少の49,409百万円となりました。この要因は、短期借入金が1,052百万円増加、一年内償還予定の社債が850百万円増加、リース債務が1,119百万円減少、未払消費税等が628百万円増加したこと等による流動負債の増加1,581百万円と、社債が935百万円減少、長期借入金が948百万円減少、リース債務が1,125百万円減少したこと等による固定負債の減少3,011百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,234百万円増加の52,106百万円となりました。この要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,134百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成30年2月9日公表の「平成30年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,197	19,946
売掛金	744	634
商品	380	430
貯蔵品	1,218	1,717
その他	2,891	2,338
流動資産合計	25,432	25,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,314	74,306
減価償却累計額	△34,584	△36,553
建物及び構築物(純額)	35,730	37,752
土地	5,736	5,736
リース資産	29,075	28,860
減価償却累計額	△13,872	△15,703
リース資産(純額)	15,202	13,157
その他	18,313	20,310
減価償却累計額	△13,966	△14,811
その他(純額)	4,346	5,498
有形固定資産合計	61,016	62,145
無形固定資産		
投資その他の資産	179	196
繰延税金資産	4,723	4,021
差入保証金	10,063	9,845
その他	296	240
投資その他の資産合計	15,082	14,107
固定資産合計	76,279	76,449
資産合計	101,712	101,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	676	617
短期借入金	678	1,730
1年内償還予定の社債	170	1,020
1年内返済予定の長期借入金	4,748	4,079
リース債務	9,327	8,207
未払法人税等	640	586
その他	5,492	7,074
流動負債合計	21,732	23,314
固定負債		
社債	935	—
長期借入金	9,909	8,961
役員退職慰労引当金	299	266
リース債務	8,646	7,520
資産除去債務	6,257	6,185
その他	3,058	3,161
固定負債合計	29,106	26,095
負債合計	50,839	49,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	3,007	4,142
自己株式	△330	△333
株主資本合計	50,336	51,468
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	674	756
その他の包括利益累計額合計	535	618
新株予約権	—	19
純資産合計	50,872	52,106
負債純資産合計	101,712	101,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	62,621	68,732
売上原価	58,384	61,828
売上総利益	4,236	6,903
販売費及び一般管理費	1,663	1,653
営業利益	2,573	5,250
営業外収益		
受取利息及び配当金	22	12
業務受託手数料	30	34
その他	124	93
営業外収益合計	177	140
営業外費用		
支払利息	433	382
為替差損	383	1
その他	83	30
営業外費用合計	900	414
経常利益	1,850	4,977
特別利益		
固定資産売却益	16	—
受取保険金	66	—
特別利益合計	82	—
特別損失		
固定資産除却損	293	325
減損損失	118	—
災害による損失	68	—
店舗閉鎖損失	286	—
特別損失合計	767	325
税金等調整前四半期純利益	1,165	4,651
法人税、住民税及び事業税	181	745
法人税等調整額	402	866
法人税等合計	583	1,611
四半期純利益	582	3,039
親会社株主に帰属する四半期純利益	582	3,039

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	582	3,039
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	703	82
その他の包括利益合計	703	82
四半期包括利益	1,285	3,122
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,285	3,122
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。